もしもに備える
心のゆとり
if共済会
会員募集中
2006
9月号

くらしの情報 あいりす通信

・セレモニーきうち
本社　香取市堀之内1947
・0120-52-4441
成田店　成田市松子329
香取屋百貨店２Ｆ
・0120-73-4491

www.ceremonykiuchi.com

お役立ち情報

仏事Q&A 知って納得

Q. お彼岸とは？

A 「暑さ寒さも彼岸まで」といわれるようにお彼岸は季節のくぎりであります。

春分・秋分の日が、太陽が真東から上がって真西に沈むことから、西方極楽浄土の信仰と結びついた日本独自の仏教行事です。

昔から、お彼岸にはご先祖様の供養のために、お墓参りをする風習があります。

その理由の一つは、「彼岸」という言葉を「あの世」と解釈して、亡くなられた人々を供養するという意味から、お墓参りをするようになったと思われます。

●お彼岸の期間

お彼岸は、春三月と秋九月の年に二回あります。期間は、春分の日と秋分の日を中日（ちゅうにち）として前後三日間の七日間です。ちなみに今度の彼岸は入りが九月二十日、中日が九月二十三日、明けが九月二十六日です。

●お彼岸の供養

お彼岸にはお墓参りをします。墓石をきれいに洗い、周りも掃除して花や線香をお供えします。手桶から水をすくい、墓石の上からかけて合掌礼拝します。

また、家庭では仏壇を掃除し、新しい花に換え、霊膳やぼたもち、おはぎ等をお供えし、ご先祖様の供養をします。

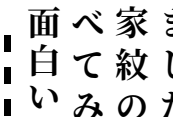
ちょっとうんちく 家紋シリーズ

今回は「女紋」についてです。

家紋は「家」と名字の独自性を象徴したマークであり、家中が一つの紋を使うのが立てまえでありました。しかし封建時代では男女の差別が著しく男子専用とされていました。そして江戸時代になり女性専用の女紋が作られたいうことです。最初は嫁入りの際に持参する道具や調度品に実家の紋を使い、結婚後もそのまま使用しました。さらに女児が生まれると母方の家紋と何らかの因縁のある家紋を選ぶ風習が生まれました。

女紋は定紋にくらべ小型のものが多く、格式ばった形より細い線で描かれた優美なものが好まれました。

（チュウインゴサンノキリ）。また細い外郭円の中に紋章の一部だけを表した「覗き」と称する紋もあります。



尾張地方では嫁が母の紋を持ってきて、これを嫁の紋として使い、その娘が嫁ぐ時にまたこの紋を持っていくそうです。代々女性で女紋を受け継ぐという風習です。この地域でも実家の紋を入れた紋付きを嫁入り道具の一つとして持参し生涯着用するという考え方は残っているので、女性の紋付きだけその家の定紋とは違う紋が入っていることが多いようです。

今回でこの「シリーズ家紋」を終了します。ご愛読ありがとうございました。ご自分の家紋の由来など調べてみるときっと面白いと思います。

あいりす通信編集部より

ご質問は郵送・FAX・電話・eメール（info@ceremonykiuchi.com）まで。配信を望まれない方はご面倒でもご一報ください。

if(イフ)共済会会員の皆様にお知らせ

特典①　葬儀基本セット価格の**１０%**を弔慰金として返金
特典②　花環などのご供花お供物を最大で**２０%**割引※
特典③　香典返しなどの返礼品を最大で**１０%**割引
特典④　お料理**５%**割引（一部割引対象外）
特典⑤　位牌一本につき**３０００円**割引
特典⑥　ご法事飾り**２０%**割引
特典⑦　新盆飾り**５%**割引
特典⑧　あいりす通信の発刊（一ヶ月に一回）
特典⑨　情報誌「喪家の為の葬儀・供養・お墓の心得」プレゼント

※お届け先が遠方の場合や、一部民間式場では割引が適用出来ない場合がございます。

会員募集中

ご入会まだお済みでない方は
0120-52-4441

if共済会の会員特典がいっそう充実しました。

入会金１万円のみ。掛金無しでこの特典！　生涯会員で家族も安心！